

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	これまでの理念「楽しく愉快地に朗らかに」は継続していく。 地域密着型サービスの具現化として、事業所と地域の関係性は前年度の会合、行事等を踏まえて、今年はさらに発展していきたい。		
2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	1階において、理念について管理者と職員間の話し合いと、確認の作業は、これからも努力が必要である。		理念の共有と真の理解による実践が行われるようになると、職員のサービス提供場面にもゆとりのある態度と言葉がけが生まれ、利用者に笑顔が増すと思われる。
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らしていることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	月1回発行のホーム便りを活用し、来所された家族への説明・伝達を行っている。 また、地方に住む家族へはホーム便りの郵送時、手紙を添え、理念の実践内容が届くようにしている。		今後も地域の方を行事に招いて理念を具現化した、ホーム生活を見学して頂く。
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	バスの待合など短時間でも近隣の方への挨拶をするようにしています。 ホームの入居者数を尋ねられたり、時に自慢の漬物を分けて頂いております。		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域とのつきあいとして、町内会運営の温泉旅行参加、回覧板に「ホーム便り」を載せ、活動を知ってもらっている。 冬期間は双方の協力が必要な除雪作業があり、つきあいを大切に考え関わりを保っている。		
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	事業者の力を生かしたという地域貢献の実践はまだ少ない。		予定していた「認知症とは何か」の学習会(キャラバンメイト)の開催を早期に実現させて、地域貢献としていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		<p>研修参加の機会を持ち、今後必要となる人がいた場合に活用していきます。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>		<p>利用者への言葉使いに注意をし、尊厳が守られるよう配慮している。リスクマネジメントを行い、気付きと望ましい言動の変容となるよう努力をしている。</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見・苦情はサービス担当者会議を開き、担当者が検討を行う。経過や結果の伝達は会議ノートを利用している。</p>		
<p>14 家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>家族面会時、健康状態の変化、日常生活についてお伝えしている。特に入居当初の環境変化による生活面、身体面の状態は詳しくお伝えしている。金銭出納は出納帳で報告している。</p>		
<p>15 運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>特に不満・苦情は直接職員に話しにくいものなので、挨拶より始まり、話し易い雰囲気を作っていく。苦情発生時は討議し、繰り返しのないよう職員に周知・伝達している。</p>		<p>運営推進会議に家族に入って頂き、意見要望等が話しやすい場として行きたい。</p>
<p>16 運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎日のミーティング、月1回の合同集会で運営者の伝達だけでなく、テーマに沿った職員の意見を出してもらっている。</p>		
<p>17 柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>勤務シフトは利用者の安全に配慮した無理のない勤務となっている。利用者の生活時間に合わせた職員配置とし、変更・見直しが必要な時は話し合いをしている。</p>		
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>職員の交替は不満や寂しさに繋がるため、必要最低限となるよう配慮努力している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>		
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>		
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談を受けた時、本人の一番適した介護は何かを話し合っている。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	事業所の説明の後、実際に見学をして頂き、対話を通じて安心感を持って頂けるように時間を設定している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	日常の関わりの中で支援する側になっていることが時にあるので、職員は共に暮らす人間同士であり、人生の大先輩であるという心を忘れないように考え行動しています。		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	職員は家族より利用者の今までの経過、利用者への思いを聞くと同時に家族へ利用者の心身の状態、ホームでの生活ぶりを密に伝え、常に関心を持っている事を伝えています。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	利用者と家族のより良い関係を続けていくため、家族へホーム内行事(もちつき大会等)のお誘いをしたり、参加を促しております。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	利用者の友人が来所され、ボランティアでお茶席を設けてくれたり、馴染みの理容師さんの訪問カットを受けたりする機会を設けております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	デイルームでは、一人だけに話をするのではなく、共通した話題を皆で一言でも話せる場を作れるよう努力しています。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	サービス利用が終わった後も幸便り等を送り、ホームでの関わりを思い出して頂く他に、催しのあることを知って頂く。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者さんにこれから始まるホームでの生活をどのようにしたいか尋ね、希望・意向に沿うよう努力しております。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時には必ずサービスを利用するまでの経過を聞かせて頂き、不十分な点は日頃の会話の中から差し障りのない様に聞かせて頂いている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	1人1人の生活リズムを把握し、その個人に合った生活をして頂けるように、身体的にも精神的にも援助できる様努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	24時間の出来事を申し送りの時に発表し、その中でその人の課題は何かということを介護計画に立案して、サービスの具体的な内容を常に検討しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	安定し、大きな変化が少ない利用者が多いが、新職員の感性・意見を大いに取り入れ計画を作成し、今後の心身の変化を予測して現状の維持が長くできるように見直しを行っている。		
38 個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	身体症状(バイタルサイン)・栄養・水分・睡眠の観察、生活面における関わりを通じて状態の変化とその対応が状況に即した介護であるよう、記録からも把握できる内容となるように記載している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	3人の看護師による医療と連携した活動により、継続した健康管理を行っている。また現在はグループホームの運営のみであるが、将来的にデイサービス・ショートステイの機能を持つ支援を近隣の高齢者のサービスとしたい。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	運営推進会議の役員にボランティア協会の会長さん、民生委員の方もおり、意見交換できる場を設けている。		
41 他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	本人の希望や体調に応じて訪問理美容サービスを利用している。		
42 地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	以前に地域包括支援センターの要請で入居された方がおりました。当ホームでは権利擁護に関わる方はおりませんが、問題が発生した時は相談・共同をする意向です。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居前からのかかりつけ医を希望される方は、その希望に添うようにし、入居後に受診の必要ができた場合は希望を聞きながら、協力医療機関を中心に受診を行う。必要な時は看護師が受診に同行し、医師との連携を行う。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	入居の際に認知症と診断した医師や精神科の専門知識のある医師と連絡を取り、受診や助言をもらえるようにしている。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	3名の看護師がおり、医療連携体制を取って健康管理を行っている。また看護師2名は各ユニットの管理者で24時間連絡を取れる体制となっている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	利用者が入院された場合、主に看護師が本人への面会や医師からの説明を聞いて、状況を把握することで早期に速やかに退院できるよう努めている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	医療連携体制を取り、重度化した場合には家族に説明をし、対応するようにしている。その場合、家族や医師と相談をして計画を作成する体制を取っている。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	医師・家族と相談した重度化の方針を職員間で話し合い確認する機会を作り、介護の現場での変化をまた家族・医師へと連絡する体制の整備に努めている。		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	旧の本人の生活の流れなどをご家族などにも聞いて、その人が今までしてきた生活を少しでも継続して出来るようにしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	入居者様1人1人の性格を知り、その人に合った声かけや、プライドを傷つけないような対応をしている。 記録・個人情報などは、必要な時は本人・ご家族・管理者の許可を取り初めて公開する。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	一部支援をし、レクリエーション等でトランプやカルタ、塗り絵等を行っている。 日々の暮らしの中で、その入居者様に関係のある事は必ず聞いて、決めて頂いております。		
52 日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	どんなに忙しくても職員は入居者に合わせた生活を優先し、希望があればそれに応えられるよう努力するようにしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	入居者様の希望した床屋へ行き、散髪をして頂いております。 希望がない方に関しては、ホームで手配をして散髪して頂いております。		
54 食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	入居者様に配膳をして頂いたり、食器拭きをお願いしたり、また米とぎ等もして頂いております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	10時と15時におやつ・お茶等を摂取しています。タバコは食事後に召し上がって頂いておられます。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	入居者様に自立を促し、なるべくPトイレやトイレで排泄して頂くように心がけている。Dパンツ・オムツの人は1時間に1回トイレ誘導をしている。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	体調等を考えて、調子が悪い方は入浴を控えてもらう。時間帯はその人に合った時間に入ってもらっています。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	夜間帯は3時間おきの見回りをして安全に睡眠を取ってもらっています。入居者様に合わせて温度調節等もして、なるべく快適な睡眠を心がけています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	月に1～2回、行事等をして気晴らしをしてもらっています。食事作りの手伝い、洗濯物をたたむ等も手伝って頂いております。		
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	入居者様に床屋へ行ってもらったり、外出時ケーキ屋さん等で買物をしてもらったりしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天気の良い日は、入居者様の希望に応え、外出・散歩・ショッピング等の支援を心がけている。		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	ご家族の方と月1回位の割合で食事・温泉などにも行っております。ホームの職員とは、買物等の機会をいくつか作っております。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	入居者様から要望があれば夜間帯以外は電話を使っております。手紙は入居者様に書いて頂き、それを職員が郵便局へ持っていく形を取っております。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	玄関から笑顔を絶やさず、ゆったりとした空間の中で入居者様の居室でお茶を飲んで頂き、くつろいで話をして頂いております。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員全員が心のケアを目指しているため、会話をし、納得して頂いて初めて行動に移ることを心がけています。		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は居室の戸は開放にしています。夜間は居室の戸は閉めていますが、何かあれば職員が対応し、鍵は一切かけておりません。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日中は居室の戸をノックし、1時間おき位に声かけをしている。 夜間は3時間おきの巡回をしている他、物音がしたらすぐに行くようにしている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	爪切り、ハサミ、その他注意の必要な物品はホーム側で保管し、必要に応じて渡し、入居者様が使っている間、職員が横についている。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	職員1人1人が入居者様に対していつも目配りをして、転倒等に注意をしています。 薬は2人で確認し、朝のミーティング等で注意を呼びかけ、誤薬がないように心がけています。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	入居者様の急変に合わせ、予測できる応急処置等を看護師に習い、いざという時に対処できるようにしている。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	災害発生時に備えた訓練を計画を立てて行い、また運営推進会議を通じて地域の人に協力してもらえようをお願いをしている。		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	入居者様のリスクが発生した場合、まずご家族に状況を説明し、理解して頂けるようにしております。解決方法について本人・家族・ホーム側と良く話し合い、その解決方法の糸口を見出すよう努めております。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	入居者様のバイタル測定と同時に顔色・表情・動き・言動の変化に対し観察し、変だと感じた時、速やかに看護師に報告するよう努めております。 看護師の方から家族へ状態の報告や手遅れのないよう医師に相談致します。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	病院からの処方箋は個人の介護記録にファイルし、いつでも内容を把握できるようにしており、また薬の増量や変更についてはカードックスに記録し、朝のミーティング時に確認し、変化が生じた場合、看護師に報告すると共に記録に残すようにしております。		
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	昼に散歩、廊下歩行等の運動をし、腸の活性化を促している。 食事については柔らかくし、堅い物に関しては煮るなどして出している。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	義歯の方は毎食後、洗面所で歯ブラシで汚れを取り、入眠時にポリドント等を使い除菌をしている。自分の歯の方も起床時、毎食後・就寝時に歯みがきをしている。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	ヘルパーはその人に合った水分の取り方を考え、1日を通じて必要な水分を摂取している。		
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	入居者様、職員全員が予防接種(インフルエンザ)を行い、また食事前・トイレ後、必ず手洗いをして、ノロウイルス等の予防をしている。 手洗後はペーパータオルを使用しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	業者により食材を注文して安全な食材を使用できるようにしている他、台所や用具の消毒など、衛生管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	冬期間は玄関にイルミネーションを飾り、ホームを見た時に華やかで楽しんで頂けるようにしております。道行く人にはホームの建物で日陰ができるので、夏の暑い日はバスを待つ方に涼んで頂いております。		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	クリスマス、お正月の前にクリスマスツリーや鏡モチ等、季節を感じさせる物を飾り、過ごして頂いております。食事についても四季の行事に合った物を出すように努めております。		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	入居者が1人になりたいと希望された時は、居室等に誘導し、他の人は食堂などで思い思いに過ごせるようにしております。		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	ご家族の方に入居者の生活、習慣等を聞き、慣れ親しんだ事物を生かして楽しく生活をして頂いております。		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	朝・昼・夕・夜間の4回、居室にあるバスタオルを濡らし、湿度調整を行っている。夏は換気のため、朝・昼・夕窓を開ける等をしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>85</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物は段差のないバリアフリーになっており、手すりやエレベーターを活用し、移動の時は必ずヘルパーが付くようにして安全に配慮している。</p>		
<p>86</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>スタッフ内で失敗した事を話し合い、その後入居者様と話し、納得をして頂き、混乱や失敗を防ぐ。</p>		
<p>87</p> <p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>裏庭に家庭菜園を作り、収穫の際は入居者様にも手伝って頂く。</p>		

サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> 毎日ある <input type="radio"/> 数日に1回程度ある <input type="radio"/> たまにある <input type="radio"/> ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> 家族の2 / 3くらい <input type="radio"/> 家族の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどできていない



. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ほぼ毎日のように <input checked="" type="radio"/> 数日に1回程度 <input type="radio"/> たまに <input type="radio"/> ほとんどない
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> 大いに増えている <input checked="" type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くない
98 職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/> ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)